

2025年7月25日

「圧電センサを用いた脈波簡易計測による脳動脈硬化の評価」研究に参加された

患者さん・ご家族様へ研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、以前に当センターで行われた「圧電センサを用いた脈波簡易計測による脳動脈硬化の評価」研究のデータを改めて解析してその知見を利用した新たな研究です。新たな研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2015年5月～2019年3月の間に、「圧電センサを用いた脈波簡易計測による脳動脈硬化の評価」（＊）研究に参加された方

【研究課題名】圧電センサを用いた頸動脈・脳動脈閉塞の簡易評価手法の開発

【研究責任者】国立循環器病研究センター 脳血管内科 部長 古賀政利

【研究の目的】既研究（＊）で蓄積された脈波を再解析し結果を解析手法に取り入れ上記研究課題の手法確立をめざす。

【利用する診療情報】

年齢、性別、身長、体重、血圧、脈拍数、脈不整、既往歴および合併症、脳卒中病型、頭部CT/MRI、頭部CTA/MRA/血管造影、頸動脈エコー検査、脈波伝播速度、圧電センサで取得した脈波、再開通療法施行の有無と結果、診療関連時刻

【外部機関への研究データの提供】

上記の診療情報を、次の研究機関に提供して、共同で研究を進めます。

主な共同研究機関及び研究責任者

- ・ 同志社大学 理工学部 電気工学科 教授 松川真美
- ・ 奈良県立医科大学 脳神経内科 准教授 斎藤こずえ
- ・ 国立病院機構大阪医療センター 脳卒中内科 科長 山上宏

【研究期間】研究許可日より2029年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

今回再解析するデータにはお名前、住所などの個人を特定する情報は含まれず、共同研究先へ提供するデータにも含まれません。お名前、住所などの個人を特定する情報については引き続き厳重に当センターで管理いたします。また、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

なお、この研究で得られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。二次利用する際に文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター 公式サイト (<http://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 脳血管科 部長 古賀政利
電話 06-6170-1070(代表)